

冬の市民生活・経済活動を支えていくため、除雪体制を整えます！

～除雪出陣式を開催します～

小樽開発建設部小樽道路事務所では、冬期間における道路交通の安全確保を図るため、除雪機械を除雪基地へ配備し除雪体制を整えることに併せて、除雪出陣式を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

本出陣式は、本格的な降雪期を迎えるにあたり、小樽道路事務所管内の国道延長約157kmの冬期間における道路交通の安全確保及び除雪作業への安全意識の向上を目的とし、除雪体制を整えることに併せて開催するものです。

記

- 日時 令和6年10月11日（金） 14:00～14:30（雨天決行）
- 場所 小樽道路事務所構内（小樽市長橋4丁目14-34）
- 内容 別紙のとおり

※ 13時30分から、工事受注者による安全祈願祭が執り行われます。

※ 取材を希望される報道関係者の方は、当日、小樽道路事務所構内までお越しください。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

小樽道路事務所 副所長 さかの しゅんいち 坂野 俊一（電話 0134-22-9116）

小樽道路事務所 第2工務課長 おがた さとし 緒方 聡（電話 0134-22-9116）

小樽開発建設部ホームページ <https://www.hkd.ml.it.go.jp/ot/>

小樽開発建設部道路情報公式X（旧ツイッター） https://x.com/hkd_ml_it_roadot



小樽道路事務所では、本格的な降雪期を迎えるにあたり、冬期間における道路交通の安全確保を図るため、除雪機械を除雪基地へ配備し、除雪体制を整えることに併せて、除雪出陣式を開催します。

開催場所



除雪出陣式の流れ

- 13:30 安全祈願祭(受注者主催)
- 14:00 開会の挨拶・訓示
- 14:10 除雪作業の安全宣言
- 14:20 除雪車出陣(運転前点検のデモンストレーション含む)
- 14:30 閉会

小樽道路事務所管内の除雪体制

除雪車台数内訳 (台)

除雪トラック	16
除雪グレーダ	4
ロータリ除雪車	7
小形除雪車	6
凍結防止剤散布車	3
除雪ドーザ	2
合計	38

一般国道5号、229号、337号、393号の計4路線、総延長約157kmを維持管理しています。これらの国道における除雪作業を、除雪基地4箇所、全38台の除雪車で行っております。

国道5号 張碓峠においては、令和4年度に後志地方を中心とした局地的な大雪の影響により、E5A札幌道通行止め後、車両のスタックが発生し滞留したことから、高速道路通行止め時の並行路線対策に取り組んでおります。

令和6年1月7日～8日の小樽市での記録的な大雪においても国道5号においては、通行止めは実施しませんでした。(参考より)



新雪除雪

多くの雪が降った場合、車道に降り積もった雪を道路脇へ寄せます。
除雪トラックや除雪グレーダにより路側や路外に雪を寄せるほか、除雪ドーザにより交差点などの箇所を除雪します。



<除雪トラック>



<除雪ドーザ>

路面整正

路面に凸凹やわだちができた場合、路面を平坦にし、車を走りやすくします。
除雪トラックや除雪グレーダで、路面の圧雪や氷板を削り取り、車の走行に必要な幅員と路面の平坦性を確保します。



<除雪グレーダ>

歩道除雪

歩道に雪が降り積もった場合、歩行者が歩けるように、通勤・通学の時間帯前に除雪します。
小形除雪車に装備したロータリ装置やブレード装置により、歩道部に降り積もった雪を除雪します。



<小形除雪車>

運搬排雪

除雪作業により道路脇に雪が高く積み上がった場合、次の降雪に備えて排雪します。
道路脇に高く積み上がった雪山（雪堤）をロータリ除雪車で切り崩して、ダンプトラックに積み込み、雪堆積場等へ運搬します。



<ロータリ除雪車>

凍結防止剤等散布

氷板や圧雪アイスバーンなどのツルツル路面が発生する場合、凍結防止剤などを散布してツルツル路面の解消を図ります。
凍結防止剤散布車により、交差点部などのツルツル路面において凍結防止剤（塩化ナトリウム等）や防滑材（砂）を散布します。



<凍結防止剤散布車>

効率的な除雪作業を行うため、ご協力をお願いします

1. 市街地の除雪作業は、快適・安全な朝の通勤通学のために、交通量の少ない深夜から早朝にかけて作業を行いますので、除雪作業に伴う振動や騒音の発生にご理解をお願いします。



2. 路上駐車は、円滑な除雪作業の妨げになりますので、ご遠慮ください。



3. 車道や歩道への雪出しは、交通事故の発生や車・歩行者の通行の障害となる場合がありますので、自宅内の雪は道路に出さないでください。



4. 大型の除雪機械により除雪作業を行うため、玄関前等に一部の雪が残ることがあります。除雪作業後の残雪処理は、各ご家庭等、ご使用者にて実施していただくよう、ご協力をお願いします。



5. 市街地の交差点、郊外部の坂などに砂箱を設置しています。路面が凍結している場合などには、砂まきにご協力をお願いします。



暴風雪時における立ち往生車両発生防止

◆ 高速道路通行止め時の並行路線対策（国道5号張碓峠）

- 高速道路が通行止めになった場合、**並行する国道の交通量の増加**が予想されます。そのため並行する国道におけるスタック・事故による通行止めの発生を防ぐため、**路面・降雪等道路状況の重点監視、除雪車の事前配備、巡回除雪等の除雪の体制強化**及び**NEXCO東日本と連携した緊急開口部の活用等**を実施します。

■ 国道5号張碓峠における取組



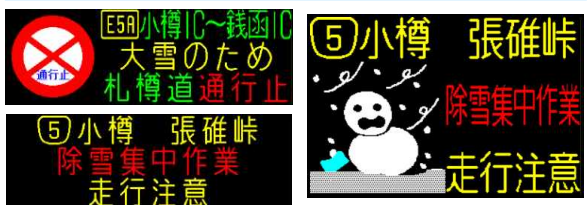
① CCTV監視強化

高速道路の通行止め時は、並行国道の路面・降雪等道路状況の監視体制を強化



② 情報板による交通情報提供

情報板を活用して通行止め情報や除雪作業状況等の情報を提供



③ 除雪車の事前配備

張碓峠の山頂付近の張碓駐車帯に除雪機械を事前配備し、立ち往生が発生した場合も速やかに対応

④ 巡回除雪の実施

天候悪化による大雪や吹きだまりの発生が予想される場合は、巡回除雪を実施し立ち往生発生を防止



▲巡回除雪状況

⑤ 緊急開口部の活用

高速道路の緊急開口部を活用して、除雪車が国道へアクセスできるようにNEXCO東日本と連携



▲緊急開口部活用に向けた合同訓練（令和5年1月）

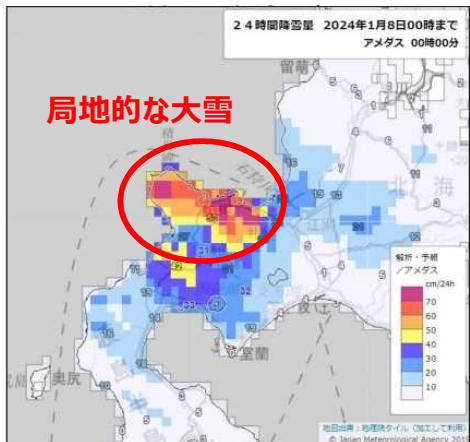
出典：地理院地図

令和6年1月7日～8日の国道5号張碓峠の対応事例



- 小樽市では令和6年1月7日から8日に統計開始以来最多となる48時間降雪量81cmの記録的な大雪が発生し、国道5号張碓峠と並行する高速道路（E5A札幌道）の通行止めが実施された。
（令和4年度国道通行止め時の48時間降雪量は49cm）
- 高速道路の通行止めにより、並走する国道の交通量の増加が見込まれたことから、**道路状況の重点監視、除雪車の事前配備・巡回除雪等の体制強化**等による立ち往生車両発生防止の防止対策により通行止めは実施しなかった。

■ 国道5号張碓峠における取組



① CCTV監視強化

高速道路の通行止め時は並行国道の路面・降雪等道路状況の監視体制を強化



② 情報板による道路情報提供

情報板を活用して通行止め情報や除雪作業状況等の情報を提供



③ 除雪車の事前配備

張碓峠の山頂付近の駐車帯に除雪機械を事前配備

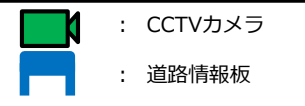


④ 巡回除雪の実施

天候悪化による大雪や吹きだまりの発生が予想される場合は、巡回除雪を実施し立ち往生発生を防止

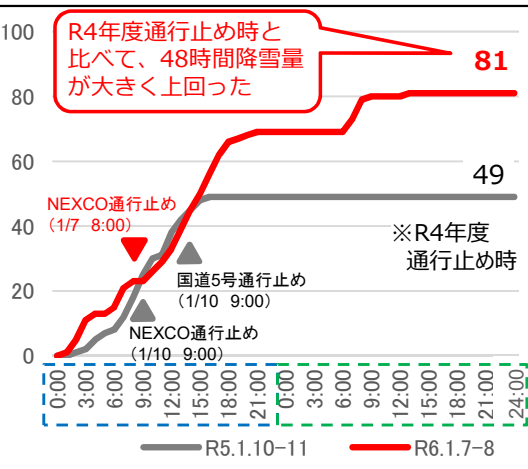


- 令和6年 E5A札幌自動車道
- ・朝里IC～銭函IC 1/7(日) 8:00～事故通行止
 - ・銭函IC～新川IC 1/7(日) 8:30～吹雪通行止
 - ・新川IC～札幌JCT 1/7(日) 8:43～吹雪通行止
 - ・新川IC～札幌JCT 1/8(月) 14:30～通行止解除
 - ・小樽IC～新川IC 1/8(月) 19:10～通行止解除



⑤ 緊急開口部の活用

高速道路の緊急開口部を活用して、除雪車が国道へアクセスできるようにNEXCO東日本と連携
⇒今年度アクセスが必要となる渋滞が発生しなかったため、活用実績なし



R5.1.10 0:00～24:00	R5.1.11 0:00～24:00
R6.1.7 0:00～24:00	R6.1.8 0:00～24:00

- 暴風雪による大雪や猛吹雪、吹きだまりにより「立ち往生」などの可能性がありますので、**不要不急の外出はお控え下さい。**
- やむを得ず自動車を利用し外出する場合には、ヘッドライト点灯、防寒対策などの事前の備えを十分に行うようお願いいたします。また、**大型車はスタッドレスタイヤでも走行できない恐れがありますので、タイヤチェーンを必ず携行・装着して下さい。**
- 安全な走行が困難な場合は無理をせず、最寄りの「SA・PA」や「道の駅」等で、天候回復を待つなど、早め早めの対応をお願いいたします。

■ 暴風雪等への備えと対応

外出の際は以下の備えを



※上記は備えの一例であり、天候等に合わせた万全な備えをお願いします。

立ち往生し救助を求めるときは

- 立ち往生してしまった場合は、ハザードランプ点灯や停止表示板等により、停車していることが他の車や周囲にわかるように表示。
- 警察・消防等に救助を求める場合は、出来るだけ位置を正確に伝える。

※国道での位置は、道路脇の1km置きに設置された標識を確認。

※警察署、消防署へ救助を求める場合 : 110/119

JAFロードサービスへ救助を求める場合 : 0570-00-8139 (#8139)



立ち往生して車内で救助を待っているときは

- 車で走行中に立ち往生してしまい車内で救助を待つときは、低体温症や凍傷、排気ガスによる一酸化炭素中毒にならないように十分注意が必要です。

！ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。



！ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



！ エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



※窓を開けていても風向や窓の開度等の条件によっては、一酸化炭素中毒の危険性があります。